

船舶事故調査報告書

平成29年3月9日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	漕手死亡
発生日時	不明（平成28年5月8日 16時00分ごろ～23時16分ごろの間）
発生場所	不明（秋田県秋田船川港船川第1区）
事故の概要	カヤック（船名なし）は、漕手が落水して死亡した。
事故調査の経過	平成28年5月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	カヤック（船名なし）、総トン数なし なし、個人所有 3.05m×0.77m×0.39m、ポリエチレン 機関なし、不詳
乗組員等に関する情報	漕手 男性 46歳 操縦免許 なし
死傷者等	死亡 1人（漕手）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西～北東、風力 0～2 海象：波向 西～西南西、波高 約1.0～1.5m
事故の経過	本船は、漕手が1人で乗り組み、釣りの目的で、平成28年5月8日16時00分ごろ秋田船川港船川第1区の金川小型船船だまりを出発した。 漕手の家族は、本船が戻らないので、20時10分ごろ警察に通報した。 海上保安庁は、警察署からの連絡を受け、巡視船艇及び航空機による捜索を開始し、23時16分ごろ、航空機が金川小型船船だまりから東南東方1,500m付近の海上で、無人の状態で転覆している本船を発見し、揚収した。 漕手は、9日00時17分ごろ、本船が発見された付近の海上で、救命胴衣を着けた状態で浮いているところを巡視艇に発見され、金川小型船船だまりに運ばれた後、搬送された病院で死亡が確認され、溺

	<p>死と検案された。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図 参照)</p>
その他の事項	<p>海上保安庁の情報によれば、本船には他船等と衝突したような損傷はなかった。</p> <p>本船は、シットオントップカヤックと呼ばれ、オープンデッキ型の海及び湖で使用される安定性の良いカヤックである。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>漕手は、溺死した。</p> <p>本船は、5月8日16時00分ごろ金川小型船船だまりを出発した後、23時16分ごろ金川小型船船だまりの東南東方沖で無人の状態で見覆しているところを発見されたことから、この間において、漕手が落水したものと考えられるが、漕手が落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>漕手は、落水して溺死したものと考えられるが、溺死に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、金川小型船船だまりを出発した後、漕手が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>

付図1 事故発生場所概略図

